

安全で強く、賢く、美しい

木造建築がいかに優秀かをご存知ですか。施工が容易で資材費も施工費も環境コストも低く、特に非住宅用途においてビルダーや建築家、ユーザに新たな選択肢を提供しています。

近年の木材に関する科学と建築技術の進歩に伴い、より高層の木造枠組建築の可能性が広がっています。科学を基盤とする革新により、さらに性能の高い建築製品が生み出され、中高層建築物に求められる構造設計や防耐火性能、耐久性に対応できるようになりました。学校や倉庫、事務所、店舗や娯楽施設などを含む多種多様な建築物にも、木造がふさわしいと言えるようになっています。

ブリティッシュ・コロンビア州は既に5-6階の木造建築を認めていますし、オンタリオ州もこれに続いています。そして技術専門家の長年の精力的な研究の果てに、2015年版のカナダ模範建築基準に対して改訂の提言がなされ、カナダ全土でこれと同一の中層木造建築が認められることになりました。同基準により火災安全性や耐震、耐風強度に適合する木造設計が約束されることになります。

主要な建材の中で、自然に成長し再生できるのは木材だけです。建築物によるカーボンフットプリントの低減に対する圧力が強まる中、機能とコスト面での目標と、環境負荷の低減との間のバランスを取ってほしいという要求が設計士に対して高まる一方です。そのバランスの実現に貢献するのが木材なのです。

林産品をはじめとする
再生可能な資源を用いて
リサイクルを推進することで
環境負荷低減への
道を拓くことができる

ライフサイクル評価に関する世界の研究の数々が、木製品がすべての段階において環境的に他の建材に明らかに勝ることを示しています。木造建築であれば温室効果ガス排出量も大気汚染も、固形廃棄物も、そして天然資源の使用量も少なくて済みます。

CLTなどの新製品が登場し普及するにつれ、カナダ内外でさらに高層の木造建築が登場することでしょう。世界では現に実証プロジェクトとして10階建の木造建築が複数出現していますし、設計段階であれば34階建や42階建も登場しています。

木造建築がさらに高くそびえてゆくにつれ、それがビルダーや建築家にとって安全で強く、賢く美しい選択であることに、カナダの人々の確信も深まることでしょう。

木造枠組み建築と資材の詳細は下記サイトまで

rethinkwood.com

cwc.ca/design-with-wood

woodfacts.cwc.ca

さらに高く！ そびえゆく木造建築

木材に関する科学と

CLTなど建築技術の進歩で

安全で強く、賢く美しい

木造中高層建築が登場。

自然に成長し再生できる

木材は、地球の資源を消費する

他の主要建材と一線を画す



FPAC はカナダ林産業界の声を代弁する業界団体であり、Vision2020の掲げる意欲的な目標の達成を支援し、イノベーションな新製品や市場の多様化、環境面での信頼性と実績の向上、そして技能を有す労働力を伴うことで、業界が変貌していけるよう尽力しています。カナダの有力林産企業を代表していることは、FPACの誇りです。

FPAC会員企業は全社が、歴史的なカナダ寒帯林協定に署名し、カナダにおける認証林の66%の営林に当たっています。FPACは会員企業の施業地に第三者による森林認証取得を義務付けた世界初の業界団体です。